

# 五小っ子

平成29年度 学校便り第10号 (6月30日)

島原市立第五小学校  
校長 永田俊文

## 学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、  
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○やさしさいっぱい ○かしこさいっぱい ○たくましさいっぱい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。



**立腰タイム「ぐー・ぴた・ぴん」** 今週で6月も終わります。  
315名の五小っ子たちは、1学期  
のまとめの時期をむかえ、先生たちと一緒に頑張っています。  
今号は本年度から始めた立腰タイムの概要からお伝えします。

立腰とは、哲学者・教育者である森信三（もりしんぞう）先生が提唱された  
腰骨（こしぼね）をいつも立てて曲げないようにすることにより、自己の  
主体性の確立をはじめとした人間形成を実現する、極めて実践的な方法です。

毎朝8時10分になると校内に♪セナのピアノ♪が静かに流れ立腰タイムが  
始まります。

- 授業中や給食時の姿勢を良くしたい } ⇒ 背骨・腹筋・背筋を整える
- 室内でのけがを防ぎたい
- 1日を落ち着いた気持ちでスタートしたい } ⇒ 気持ちを落ち着かせ  
集中力を高める

このような課題を解決するために始めた活動です。



## 一立腰の姿勢一

- ・深く腰掛け、机とおなかの間はこぶし一つ分あける。(ぐー)
- ・両足は床につける。(ぴた)
- ・腰の骨を立てる。(ぴん)

※お手本役は5年生の生活指導委員会です。

BGMが終わる2分後に放送担当の先生  
が次のフレーズをおだやかに語りかけます。

「今日も一日 いい日だといいですね。」



## かしこさいっぱい



『子どもたちが算数の学習に進んで取り組むような  
活動や、友だちと学び合う活動を工夫して少しでも算  
数を好きになってほしい。』これが、本校の先  
生たちの願いです。

願いを実現するために、毎週校内研修を行  
っています。6月20日(金)に本年度2回  
目の全校研究授業を2年2組(林田学級)で行  
いました。

左の写真は当日のペア学習の様子です。  
「はじめに・次に・だから答えは……」とい  
うように順序を表す言葉を使って相手にわか  
りやすく伝えます。(話す人・聞く人を交代し  
て続けます)

自信を持たせたうえでみんなの前で発表する授業づくりを行っています。

## 笑顔

今朝出勤し、車から降りると「校長先生おはようございます。」と1年生  
があいさつをしてくれました。自然にでてくる笑顔はいつ見ても素晴らしい  
と思います。私たち大人(親)は子どもたちの笑顔に癒され、笑顔のために毎日働いて  
いると言っても過言ではなさそうです。



だけど、家庭でも学校でも笑顔ばかりとはいき  
ません。悪さをして叱られることもあるし、何か  
に困ったり、悩んだり、心配したりして笑顔が消  
える時だってあります。

ほんの一言の助言で解決する時もあれば、教師  
も保護者も流儀を変えなければ解決できない時だ  
ってあります。

子どもたちのストレス(心や行動の変化)を認  
識し、笑顔を増やすためには学校と家庭の協力が  
不可欠なのです。夏休みを前に何か気がかりな事

があれば担任からでも保護者からでも連絡を取り合って子どもたちの笑顔のために連携協  
力してまいりましょう。

## 私たち大人は行動の原理に反した対応をしていないだろうか？

△できているのに褒めない：大人の言い分「これくらい出来て当然だ」  
「よその子はもっと出来ている。」

△褒めるどころか、次の課題を指示してしまう

子どもの心の声「がんばっても、見てくれないし、  
かえってやるが増えるだけだなあ。」



また、「褒める⇒やる気になる」「叱る⇒反省する」とは限り  
ません。過剰な褒め言葉をいやがっているかもしれません。  
大人が叱っているつもりでも、子どもは「注目してくれた」  
と喜んでいるかもしれないのです。

良い行動が増えているか減っているかをしっかり見てあげ  
る事が重要なのです。